

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームコスモス	評価実施年月日	平成22年3月15日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年3月20日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	人を人として人らしくの理念のもと、利用者一人一人がその人らしく生活できる事を第一にその人のペースを守りサービスを提供しています	○	地域に開かれた生活が継続できるように支援している
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	日常の業務の中で、各ユニットの管理者が、介護の基本姿勢について話している。	○	勉強会を開催している
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	入居相談時からご家族さんには地域との共生を理念に掲げ、行事・活動・日頃より地域で生活することを説明させていただいております。	○	施設で行う行事等の参加要請、町内会の会合時に談話室の開放。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。		○	地域の清掃奉仕活動の検討・地域への相談室開放・施設の屋外環境の整備を計画・ラジオ体操の実施を計画
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会への加入	○	お祭り等の各種イベントの開催や地域で行われる行事への参加
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	認知症100万人キャラバンのサポーターに全職員が受講し地域貢献に取り組んでいます	○	今後はさらにサポーターである事を生かして色々な事に取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			○
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員一人一人が自己を評価し利用者に対しサービスを提供しています</p>	○	<p>今後も外部評価・自己評価を通してより良い地域に親しまれた施設になるように努力していきたいと思います</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議を実施し、様々な意見及び提言をいただいております</p>	○	<p>定期的な運営推進会議の開催とサービス向上に活かす取り組みを行いたいと思います</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>サービス連絡協議会の会議への参加をし質の向上に取り組んでいます</p>	○	<p>今後も継続して会議等に出席をし地域・市町村とともに向上につなげたいと思います</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>理解している職員は活用し支援している</p>	○	<p>職員全員が学び理解できるようになりさらに活用できる対応をしていきたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>利用者一人一人の状態の把握の徹底をし小さな変化も見過ごされる事のないよう注意しています</p>	○	<p>言葉・身体等にとどまらず自分が言われたりされたりしたら嫌なことは虐待と考えそのような事が無いようにサービスを提供しています</p>
4. 理念を実践するための体制			○
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約に関することのみならず多方面でも十分な説明を行い理解と納得を図っています</p>	○	<p>今後も家族・利用者等との信頼関係を継続し、いかなる時でも十分な理解と納得を図っていききたいと思います</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	常に機会を設け話し合いをしています	○	今後も気軽に何でも話していただける様に関わりを継続していきたい
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	暮らしぶりや職員の異動については便りや掲示板を利用し報告しています 健康状態は面会時に常時報告しています 金銭管理で預かり金については毎月現金出納帳にて報告をし、個人が持っている金銭については利用者が買い物をした後に面会時に報告をしています	○	今後も利用者一人一人について家族への報告を行い、前もって必要と思われる事項を含め連絡していきたいと思います
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時の報告のときを利用し設けています	○	今後も面会時や必要に応じた時に対応していきたい
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスのときを利用したり又時間にとらわれずに意見等を聞き職員の意見や提案を取り入れています	○	今後もっと細部までも職員同士のみならず、会社全体でより良いサービスの向上につなげたいと思います
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	管理者・職員が必要に応じそれぞれ調整し確保しています	○	今後も出来る限り利用者・家族に満足していただける対応をしていきたい
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員全員が馴染みの存在になれるように、日々の生活のなかでコミュニケーションや声掛けを常に心がけてケアを提供しています	○	今後も利用者と職員がライフパートナーとして充実したケアを提供していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>職員個々に研修への参加機会をつくっています</p>	○	職員が希望する研修への参加実施をしています
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>職員の交換研修の申し入れを他の施設にお願いしたり施設見学を実施しています</p>	○	今後はさらに関連する他業者との交流にも取り組みたい
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>小さなことでも職員のほうから話をしてもらい、時には運営者のほうから関わりを持って声をかけたりストレスとなる前に対応するように心がけています</p>	○	他の事業所との交流を深め相互で交換会を行い、職員のストレス軽減やスキルアップにつなげたいと思います
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>向上心が持てる声掛けやアドバイスを行い、必要に応じその都度相談や説明を行っています</p>	○	継続し相談や説明をしていきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>相談やその後も本人からいろいろな話を聞き信頼関係を築いています</p>	○	より深い信頼関係を築けるように関わりをもって支援していきたい
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>利用者の事だけではなく家族の不安や困った事を話の内容のなかで把握し負担にならないような対応しています</p>	○	家族の負担軽減につながるアドバイスや対応・対処を行い信頼関係を深めたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人・家族を含め、ニーズにあった対応とサービスを必要な限り提供しています	○	本人・家族の希望、またそれに沿ったサービスを見極め対応しています
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人も安心して、家族も納得のできるように多方面から見だし、他の利用者にもかかわりを持ってもらうなど、馴染みやすい環境を作りサービスを行っています	○	周りの環境等を工夫し、今以上に家族等が足を運びやすいようにしたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	利用者に得意なことを教えてもらう等して、職員が学んだり職員一人一人が利用者と共に時間を過ごす対応をしています	○	日々の生活の中で共に楽しみや哀しみを共有しお互いに支えあう関係を築いています
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	四季折々の行事や誕生会など家族が時間の許す限りの範囲で共に利用者を支えています	○	誕生会やレク、お祭りを利用し参加していただき、職員・家族・利用者が一体となれる関係作りを行っています
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	職員は家族に代わって家族が行うことのできないサービスを提供するだけでなく家族に安心感も持ってもらえる支援をしている	○	便りの発送を含め多様な面で支援を行っています
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族からの情報をもとに施設でできる範囲の支援をしています	○	家族の了解を得ながら、そのときの状況によっては行事への参加を促し関係の持続支援を行っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士のコミュニケーションがよく取れていて、自然と自分達でトランプを始めたりビーチボールを投げあったりしています	○	みんなのペースについていけない利用者のフォローを職員が行い、楽しい状況を継続していきたい
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	誕生会等の行事の案内を出し参加していただいています	○	コスモス便り等を発送し、いろいろな行事に取り組んでいる姿を伝えていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人一人のライフスタイルを大切に、常にその人の立場になり代わりサービスを提供するように職員一同心がけています	○	本人に希望を聞き家族にも相談する等してより、意向にそった生活をしてもらう
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や友人等からの情報を細かく分析し入居時の情報提供とし個々のファイルにつづり職員は把握に努めています	○	入居時に多方面より情報をもらっているが家族も忘れていた事等の確認をしていきたい
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	全職員が利用者のライフスタイルや状態を共有し変化があればその都度記録に記入して情報の共有・把握に努めています	○	医師とも連携をとりその人の持つ力を見極め健康的に暮らせるように支援していきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			○
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族が望んでいる事・本人が希望している事を念頭に計画を作成しています	○	今後も、本人の気持ちを受け止めた計画を作成していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	一定の期間だけではなく必要に応じ作成を行っている	○	特に身体的変化の大きな場合は医師・看護師の指示を仰ぎ、より適切な計画を作成していきたい
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	その都度、必要に応じ介護計画の見直しをしています	○	職員が利用者を多角的に見る事ができるようにしていきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	家族・職員との外出、買い物、ドライブなどを行い支援しています	○	家族が利用者にしてほしいと考えていることを実現していきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	市のレクリエーション指導者の来所、エレクトーンのボランティア訪問、盲導犬チャリティーの見学等している	○	更に交流を深めていきたい
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域ケア会議の部会に毎月出席し、地域のケアマネよ情報交換し日々の介護に活かしています。又やすらぎ祭りに他のホームの利用者が参加しています	○	イン・フォーマルなサービスの利用を広げていきたい
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	日常的に出向き多面で情報収集を行い協働しています	○	今後は介護予防の観点を視野に入れディサービスにも取り組んでいきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	職員が解らない事など看護師の指導を受けている	○	定期的な勉強会の機会を作って職員の知識の向上を図りたい
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	提携医のみならず、脳外・精神科等状況により受診しています	○	利用者の状態の変化を見過ごすことなく相談できる関係が出来ているのでよりつながりを深くしたい
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医との連携により看護師からの助言や指導を活用しています	○	今後も協力医と連携し、看護師の助言のもと利用者に支援していきたい
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入退院時の説明には家族の了解を得て同席させていただき、早期退院への環境づくりや支援を行っています	○	今後も早期退院が出来るように支援していきたい
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	医師と家族の話し合いがスムーズに行なえる様に利用者の現状態の相互への報告を行い必要に応じて話し合いの調整をおこなっています	○	今まで同様に家族や協力医と話し合い職員全員で支援していきたい
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	常に協力医の指導や助言の頂ける状態を持ちチームとして支援しております	○	早期の段階から検討や準備を行い、その人らしい終末期を迎える事が出来るようにチームとして今まで以上に職員が支援に取り組んでいきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	ご本人・家族及び関係者と話し合いを行い実行しています	○	今後も住み替え後、必要に応じ家族や利用者に支援をしていきたい
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	守秘義務の徹底をおこなっています	○	今後も変わりなく守秘義務の徹底をしてゆきます
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	本人の理解力や状態に応じ表現の工夫や声かけを行っています	○	状況・状態に応じた対応をもって支援していきたい
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	常に利用者を優先し、その人のライフスタイルの維持に努めています	○	ライフスタイルを守りその人らしい日々の暮らしを支援していきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
○			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	馴染みの店や希望する店、またはそのお店の理美容師を利用しています	○	今後もその人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援したい
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の状態や力に応じできる事を日々の中で無理のないようにおこなっています	○	今後もその人にあった活動と一緒に無理のない活動の支援をしていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	食べたいもの、飲みたいものの希望を聞き提供しています	○	利用者の意に沿った支援を今後もつづけていきたい
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人一人の排泄パターンを把握し、ポータブルの使用や尿取りパッドを使用し対応しています	○	その人に合った排泄パターンで支援していきたい
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入りたい時に入浴していただいています 全介助の利用者さんは、その日の状況(利用者の)を見ながら体調の良い時に入浴していただいています	○	今後も入りたい時に入浴していただきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人一人の状況や気分に応じて、居間で昼寝をする人がいたり長いすで居眠りする人がいたり利用者の自由にいただいています	○	一人一人の生活パターンやその日の体調を考慮し、安眠と休息を支援したい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	散歩、ドライブ等と気晴らしにつながることを支援したり、買い物をしたりとその人の力に応じた対応をしています	○	今後も出来る事は手伝っていただき、その人の趣味や特技を発揮できるように支援したい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物や散歩、行事等を支援の場に活用しています	○	今後も本人の希望を確認し、職員同行にて買い物等を行う
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物や散歩、ドライブなどをし支援しています	○	季節ごとに行事を行い参加してもらっています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族が迎えに来て外泊・外出をしたりしています。また、天候を考慮し外食などにも出かけています	○	温泉などにも一緒に行き楽しんでもらいたいと思います
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	手紙や電話、面会等で家族との接触の機会を多く作っています	○	手紙や電話、小包なども届き利用者の喜ぶ顔を見るのも楽しいことです
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも気軽に訪問していただけるように日中の鍵の施錠はしていません また、談話室も完備しております。	○	一人一人の利用者が喜んでいきます
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	どんな状態や状況であれ、身体拘束は行わない介護をしています	○	これからも身体拘束の無いケアを心がけていきたいと思っています
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間以外は施錠していません	○	誰でも気軽に訪問したり見学できるように、玄関は夜間以外施錠していません
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	いつ、どんな時でも利用者の行動、所在を把握し安全に過ごせるように努めています	○	利用者のプライバシーは守られ、昼夜を問わず行動・所在は把握しています
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	利用者の状況や状態に応じて保管・管理を任せています	○	ライフスタイルが守られ元気に過ごせるように支援していきたいと思ます。危険な物にならないように気配りをしたいと思います

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	昼夜を問わず物音ひとつにも気をつけ常に利用者の行動を把握するように努めています	○	一人一人に合った事故防止に取り組んでいます。転倒、誤飲のないように細心の注意を払っています
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的ではありませんが状況に応じ講習会等を行っています	○	かかりつけ医や看護師から指導を受けています
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	地域の方々に理解を得てもらっています	○	災害が起きた時は利用者を優先に避難してもらうように地域の人に協力してもらっています
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	いつ、どんなときでも、何が起きてもおかしくない状態であることは家族にも話をしその上で納得していただき、対応策を話し合っています	○	そのような事が起きないように日々職員は利用者との連携を密にしています
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	利用者一人一人の体調の変化は職員全員が把握し情報を密にしています	○	かかりつけ医や看護師には速やかに連絡しています
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	受診時の処方後必ずその薬についての副作用・用法・用量を確認し、症状の観察をおこなっています	○	利用者がどんな薬を服用しているか全職員が把握しています
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	乳製品・繊維質などを食事やおやつに取り入れ、ボール投げや遊びリテーションの中で体を動かして便秘予防につなげています	○	利用者が行える事は見守りの中で行い、道具を利用しながらのレクや体操を行っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後の歯磨き、口ゆすぎ、ハミングッドの使用などで支援しています	○	食後の口腔ケアの徹底やうがい・歯磨きをしています
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	おやつなどの水分摂取以外にもお茶・コーヒーなど水分摂取になるように決められた時間以外でも支援している	○	利用者の状態に応じ栄養、バランス等を考え支援しています。必要な場合には医師や看護師からの指導を受けています
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルの利用や手洗い・うがいの徹底をしています	○	研修会・講習会へ参加をし、職員一人一人が感染症に対しての予防や対応を習得しています
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	日々の消毒の徹底や衛生管理を行っています	○	冷蔵庫・調理用具の衛生の徹底と、新鮮で安全な食材の購入及び調理、賞味期限・消費期限の日々の確認を行っています
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関には車いす用のスロープを設け、駐車場や玄関前を広くしています	○	今以上に親しんでいただけるように検討したい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	掲示板の利用や作品の展示などをして、季節感を工夫したり居間など利用者が共有している空間にも利用者が作ってくれた作品を共に飾ったりしています	○	今後も引き続き今まで行ってきたことを継続していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	○	一人一人の空間を大切にしていきたい
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いたくしたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	○	使い慣れたものだけではなく、懐かしさのあるものを取り入れ会話がはずむような工夫もしていきたい
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	○	夏場は窓の開閉での換気、冬場は状況を見てこれまで同様配慮していきたい
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。</p>	○	今後も見守りの徹底を行い、自立した生活が送れるように支援していきたい
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	○	今後も見守り、声かけを行い支援をしていきたい
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	○	今後、畑作りや花壇作りを行います

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ②

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない	②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)